



せい しん つう しん 聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第7号 2021年9月30日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号

TEL 011-611-9231/011-676-7667(職員室直通)

URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

FAX 011-612-0980

10月の予定

	行 事	お弁当
1(金)	後期開始 百合の行列(1校時) 通知表手渡し	要
2(土)	姉妹会執行部役員選挙(1校時) 聖ソフィア祭(2・3校時) 母の会幹事会③オンライン(15:00~15:45) 父の会聖書サークルオンライン(Sr.田口、16:00~17:30)	不要
3(日)	赤い羽根共同募金(12:30~14:00)	
4(月)	中学 ロザリオの祈り①(昼休み)	要
5(火)	中学 ロザリオの祈り②(昼休み) 高3GI アクションプラン発表会(1校時)	要
6(水)	尿検査② 防災訓練(4校時)	要
7(木)	中学 ロザリオの祈り③(昼休み) 中2 校外学習①農業体験	要
8(金)	中学 ロザリオの祈り④(昼休み) 漢字検定①(放課後)	要
9(土)	中1 盲導犬協会講習(10:00~11:00) 高1 進路適性検査(3校時) 英語検定一次②	※
10(日)		
11(月)	イブニング相談会(18:00~20:00、エルプラザ)	要
12(火)	中2 校外学習②ウボボイ・えこりん村	要
13(水)	高3 午前授業 高3 四者面談①(午後)	要
14(木)	中1・中2 修養会 母の会修養会(10:00~15:30)	要
15(金)	中1・中2・高3 修養会	要
16(土)	家庭学習 高3 四者面談②(終日)	
17(日)		
18(月)	高校 ロザリオの祈り①(昼休み)	要
19(火)	全校朝礼オンライン(任命式) 高校 ロザリオの祈り②(昼休み)	要
20(水)	中学 学力推移調査②(午前中) 梅干し弁当募金⑤ 中2 バレエ鑑賞(5・6校時) 課題研究ミーティング⑤(放課後)	梅弁
21(木)	高校 ロザリオの祈り③(昼休み)	要
22(金)	高校 ロザリオの祈り④(昼休み) 中3 卒業研究レポート最終提出(17:30) ピアサポートワークショップ(放課後)	要
23(土)	高2 小論文講習①②(1・2校時) 高1 小論文講習①②(2・3校時) 雪の聖母園野菜販売(11:00~13:00) 中学 授業参観(3校時) 中学 寄宿舎保護者懇談会(12:30~13:00) 中学 保護者懇談会(13:00~14:00)	不要
24(日)		
25(月)		要
26(火)	全校朝礼オンライン 後期第1回委員会開始(放課後)	要
27(水)		要
28(木)	尿検査③	要
29(金)	寄宿祭(未定)	要
30(土)	生徒家庭学習 小6対象入試対策講座①(9:00~12:30) 中学生対象オープンスクール③(14:00~16:00)	
31(日)		

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

暑かった夏が終わり、後期が始まります。前期末考査の結果や成績をしっかりと受けとめて、これからの学びに生かしていきましょう。

緊急事態宣言が解除されても、気を緩めてしまわないように注意していきましょう。引き続き感染予防対策を徹底しつつ、皆で学べることに感謝し、生徒一人ひとりが充実した日々を過ごせますように。

Congratulations!!

◎高文連 第22回英語弁論大会石狩支部大会(動画審査)

5位 高1-G 原田安珠さん

奨励賞 高2-G 大萱生琉衣さん

Sr.竹井 追悼の祈り

9月21日(火)、Sr.井出の母の会聖書サークルの後、チャプレン Sr.田口の司式で、1986年から1991年まで札幌聖心の校長をなさった Sr.エリザベス竹井恒子 帰天9周年の追悼の会が行われました。感染予防対策として密を避けつつ、Zoomと対面のハイブリッドで実施しました。

例年修養会でお世話になっている林神父様も Zoomでご参加くださり、祝福をいただきました。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



行事予定はあくまで暫定のものです。今後大幅に変更される可能性がありますので、ご了承ください。
変更については一斉メール等でご連絡いたします。

2021年3月末をもって本校のお仕事から離れておられた 英語科の白鳥晴子先生ですが、後期から再び本校でご勤務いただくこととなりました。主に中2生、中3生の英語の授業でご指導いただきます。ご承知置き下さい。

今月の聖句

マリアはこれらの出来事を すべて心に納め思い巡らしていた。

ルカによる福音書 2章 19 節

母はこれらの出来事をすべて心に納めていた。

ルカによる福音書 2章 51 節

9月13日の対面授業開始の日、久しぶりに生徒の声が響く校舎で、「これぞ学校！」との思いが沸き上がりました。長く続いたオンライン授業の後で、友達との顔と顔を合わせての出会いに大喜びの生徒たちの笑顔に、こんなに長くコロナに悩ませられるとは想像もしなかった昨年からの日々を想いました。そして、この聖句を思い浮かべました。

聖書は、馬屋で生まれた幼子を見に羊飼いたちが拝みに来るという不思議な光景を、マリアは「心に納め思い巡らしていた」(ルカ 2:19)と述べています。また、少年イエスが神殿で学者たちと話をしている両親を心配させるという不可解な出来事の後も、「マリアはこれらの出来事をすべて心に納め思い巡らしていた」(ルカ 2:51)とあります。マリアはすぐには理解できない出来事をも静かに受け止め、そこに神のこころを感じようとしたのだと思います。



聖心の教育で大切にしているのは、生徒たちが心を静め、振り返りをする習慣をつけること、そうすることによって目に見えないもの、物の奥にあるものを見る目を持つこと、自分の心の奥にささやかれる神の声を聴き、神のこころを感じることを学ぶことです。10月には世界中の聖心の生徒と心を合わせて「感すべき御母」を祝います。この絵の原画はローマにあります。本校では3階の学習ホールにレプリカがあります。この絵は若いマリアが静かに祈りのうちに「思い巡らして」いる姿です。絵の中にはたくさんのシンボルがあり生徒たちはそこからマリアのような女性に成長するよすがを見出します。

10月1日の後期の第一日には、「百合の行列」の行事を通して自分のこころの大切なものを聖母にお捧げして祈ります。聖母マリアはきっと一人ひとりの成長を見守り、導いてくださるでしょう。マリアはすべての人の願いと祈りを神に取りつぎ、私たちの人生のなかにおこるどんな出来事の内にも神の働きを見出すことを助けてくださる方だからです。

[担当：Sr.新庄美重子]